

国際競争力強化のための物流施設整備に関するビジョンの策定 検討委員会の趣旨と今後の進め方

趣 旨

経済のグローバル化が進展する中で、企業の調達・生産・販売活動を結びつける物流の重要性が増していることから、我が国産業の国際競争力を強化するためには、物流の効率化を促進することが必要である。さらに、物流の効率化は、環境負荷を低減させる効果を有している点においても重要である。

物流の効率化のためには、十分な機能を有する物流施設が適切に配置されることが不可欠であるが、物流施設をめぐる、様々な課題や状況の変化が生じている。例えば、国際的なゲートウェイの一つである臨海部については、交通拠点インフラとの隣接性や都心部への近接性等、立地上の優位性は高いものの、一部の物流施設について老朽化や機能不足が生じているとともに、建替え用地の取得が困難であるという課題が生じている。一方、内陸部については、社会資本整備の進展に伴い、高速道路インターチェンジ周辺等における物流機能立地のポテンシャルが高まっている。

そこで、こうした状況や物流をとりまく近年の現状を踏まえつつ、効率的な物流ネットワークの構築による物流の効率化のために、臨海部と内陸部の物流施設機能の連携・補完のあり方等を検討することにより、国際競争力強化のための物流施設整備に関するビジョンをとりまとめることとする。

今後の進め方

第1回 検討委員会（12/1）

- （1）検討委員会の趣旨と今後の進め方
- （2）物流の現状と課題
- （3）物流施設の現状と課題
- （4）物流活動や物流施設に関するニーズ
- （5）物流施設の立地に関連する諸制度の現状

第2回 検討委員会（予定：1月下旬）

- （1）東京南部（平和島）流通業務団地の現状と課題
- （2）課題解決に向けた方策
- （3）物流施設整備に関するビジョンの骨子

第3回 検討委員会（予定：3月中～下旬）

- （1）東京南部（平和島）流通業務団地の課題解決に向けた方策
- （2）物流施設整備に関するビジョン

ビジョン策定に向けた作業フロー

